

蘇る！孤高の神絵師 渡辺省亭展 開催のお知らせ

加島美術では、平成 29 年 3 月 18 日(土)から平成 29 年 4 月 9 日(日)の間、明治期に活躍した日本画家、渡辺省亭（わたなべせいてい）の回顧展を開催いたします。

またこれに合わせて、東京国立博物館は始めとした都内複数の博物館・美術館等の協力により、各施設で所蔵する省亭の作品も各施設で展示されます。これにより渡辺省亭の作品を巡る都内の美術散策もお楽しみいただけます。

さらに展覧会に先立ち平成 29 年 3 月 10 日(金)には、日仏会館に於いて渡辺省亭をテーマとしたシンポジウムの開催も決定しており、まさに次なるブーム到来の予感。この機会に是非ご来場ください。



渡辺省亭は、菊池容齋に学び、柴田是真に私淑し、洗練された江戸美意識に、西洋感覚を融合させ、洒脱な構図と精緻で省筆を多用した筆遣いで独自の様式を完成させました。特に花鳥画に於いては他者の追随を許さない存在です。また明治 11 年には日本画家として初めて渡仏し、西洋に直接接触るとともに、ドガやマネなど印象派の画家たちに影響を与えました。帰国後は七宝工芸家の濤川惣助とともに無線七宝を編み出し、迎賓館赤坂離宮「花鳥の間」には現在でもその七宝作品が飾られています。

晩年に画壇と距離を置いたためか、その死後は、回顧されることがありませんでしたが、近年、研究者の間で再評価され始め、今、再び注目されている画家です。

SEITEI 「蘇る！孤高の神絵師 渡辺省亭」展

[開催概要]

会期：平成 29 年 3 月 18 日(土)～4 月 9 日(日) *会期中無休

会場：加島美術 東京都中央区京橋 3-3-2

時間：10 時～18 時

展示点数 約 30 点 *会期中展示替えあり

[協力施設等]

(1) 東京国立博物館：平成 29 年 3 月 7 日(火)～平成 29 年 4 月 16 日(日)

- (2) 迎賓館赤坂離宮：一般公開中
- (3) 山種美術館：平成 29 年 2 月 16 日(木)～平成 29 年 4 月 16 日(日)
- (4) 松岡美術館：平成 29 年 3 月 22 日（水）～平成 29 年 5 月 14 日（日）
- (5) 根津美術館（展示期間調整中）

[シンポジウム]

タイトル（予定）：没後 100 年渡辺省亭とその時代 一日仏近代美術の黎明一

日時：平成 29 年 3 月 10 日(金) 17 時から 20 時 30 分

会場：日仏会館 1 階ホール 東京都渋谷区恵比寿 3-9-25

登壇者（予定）：岡部昌幸、塩谷純、佐藤道信、山下裕二、野地耕一郎ほか

主催：渡辺省亭展実行委員会

共済：日仏会館フランス事務局

後援：ジャポニスム学会、日本フェノロサ学会ほか

※シンポジウムに合わせて、3 月 9 日(木)から 3 月 11 日(土)の間、日仏会館ギャラリーにて省亭作品を展示いたします。

[内覧会レセプションのご案内]

日時：平成 29 年 3 月 17 日(金) 18 時から 20 時

会場：加島美術 東京都中央区京橋 3-3-2

[お問合せ先]

株式会社加島美術 TEL 03-3276-0700 E-mail info@kashima-arts.co.jp

[渡辺省亭展実行委員会]

- ・岡部昌幸 監修者 帝京大学文学部教授
- ・植田彩芳子 京都文化博物館学芸員
- ・加島林衛 株式会社加島美術代表取締役
- ・緒方延泰 根津美術館顧問弁護士
- ・山田満 企画者

[実行委員会より]

現在日本では忘れ去られた画家となっていますが、優品の多くは海外にあり、その卓越した技術とセンスは現代においてなお高く評価されて然るべきと考えます。今回のプロジェクトは 2018 年の没後 100 年において本格的な回顧展の開催を望み、先ずはその知名度を上げることを目的の第一としています。そのためにはこのプロジェクトをできるだけ大きな波とする必要があり、皆様のお力をお借りしたく、周知にご協力いただきます様お願いいたします。